

「一緒に語ろう！～認知症の“食べる”について～」

# 東海摂食栄養フォーラム オンラインセミナー


日時

2021年11月21日（日）  
10:00～13:00

総合  
司会

青山 寿昭  
愛知県がんセンター看護部  
徳永 佐枝子  
東海学園大学  
健康栄養学部管理栄養学科准教授

開催形式

オンライン（ライブ配信）

定員

1,000名（先着順）  
※11月18日（木）17時 締切

演題

第一部…摂食嚥下診療 食事介助におけるコロナ対策

「食事介助から発生したクラスター事例を通して」  
渡口 賢隆先生（JA愛知厚生連 豊田厚生病院 総合内科医長）

「在宅訪問診療におけるコロナ対策」  
武内 有城先生（たけうちファミリークリニック院長）

第二部・・・症例提示  
「なぜか食べない認知症の方への総合的アプローチ」  
洪 英在先生（医療法人康誠会東員病院・  
認知症疾患医療センター総合診療科）

第三部・・・総合討論

申し込み

参加費 1,000円

※事前支払い制です。支払方法は申し込み入力画面からお選びいただけます。

本セミナーに関するお問い合わせは以下の連絡先までお願いいたします。

メール：[haoyama@aichi-cc.jp](mailto:haoyama@aichi-cc.jp) TEL：052-762-6111（愛知県がんセンター看護部 青山 寿昭）

※業務の関係にてお急ぎ以外、メールでのご連絡をお願いできれば幸いです。

※イベントペイに関して・Zoomの使用方法やネット接続等に関する問い合わせにはお答えできませんので、ご了承ください。

## Webセミナーツール **Zoom** を使用します 参加の手順は3ステップ！

①

下記QRコードから登録フォーム  
に進みお申し込みください。

イベント



②

ご申し込んだメールアドレスに「申込内容の確認」と  
「Zoom参加URLのお知らせ」が届きます。

当日ご参加に必要なメールで  
す。大切に保管して下さい。



③

当日、お時間になりました申  
込時に自動返信された  
「Zoomイベント参加URLの  
お知らせ」または前日18時に  
送られるリマインドメールか  
らZoomにご参加ください。

PC、Mac、iPad、iPhone、Androidデバイスから参加できます：  
ここをクリックして参加  
注：このリンクは他の人と共有できません。あなた専用です。  
パスワード：311974  
カレンダーに追加 Googleカレンダーに追加 Yahooカレンダー  
に追加

裏面に講師紹介・スケジュールのご案内がございます

## ご挨拶

東海嚥下フォーラムとは・・・

2014年1月に愛知県で食支援に関わる4団体、①在宅栄養支援の和（在宅栄養）

②HEIWA(Hirabari Eiyou Information Working Association)（栄養・地域連携）現在はスワローサポート

③東海嚥下食研究会（嚥下食）④嚥下研究会食楽（嚥下障害）が共同して

地域の食支援の向上を目的として「東海HEI和マニア」を立ち上げ、

各研究会での情報交換を開始しました。

その後、多職種が共通した知識・技術を習得することを目的に2015年1月に第1回

東海摂食栄養フォーラムを開催。2017年に第2回、2019年に3回と隔年開催を行っています。

岐阜KAIGO食を考える会、いりなか在宅歯科医療連携研究会、とよた嚥下食の〇（輪）の

3団体の参加もあり、現在は7団体で会を運営しています。コロナ禍で開催も延期となり、

オンラインでのWebミーティングの開催に至りました。

今回は他エリアの方も大歓迎です。ご職種問わず、是非たくさんのご参加お待ちしております。

東海エリアの取り組みにご意見をいただければ幸いです。

東海嚥下フォーラムWebセミナー実行委員会

## スケジュール

9:45~ 入室受付開始

10:00 開会のご挨拶

10:05 第一部 摂食嚥下診療 食事介助におけるコロナ対策

- ・食事介助から発生したクラスター事例を通して 渡口 賢隆先生
- ・在宅訪問診療におけるコロナ対策 武内 有城先生

11:40 第二部 症例提示

- ・「なぜか食べない認知症の方への総合的アプローチ」 洪 英在先生

12:30 第三部 総合討論

12:55 閉会のご挨拶



## 講師紹介

### 渡口 賢隆先生 JA愛知厚生連 豊田厚生病院 総合内科医長

日本内科学会総合内科専門医・日本東洋医学会認定漢方専門医・インфекションコントロールドクター

好きなもの 嚥下造影>内視鏡、感染診療>対策、研修医と専攻医への指導

摂食嚥下障害診療を行われながら、感染対策チームの一員として感染診療・対策に取り組まれております。

COVID-19流行下での感染対策の重要性、食事との関連について、クラスターの経験を踏まえ、お話し頂きます。患者さんの「食べる」と医療者の安全・健康をいかに守るかを考える機会をご提示いただきます。



### 武内 有城先生 たけうちファミリークリニック院長（名古屋市）

武内先生が医師になられた35年前は外科医が輝いているようで、さらに肝臓の手術ができる日本一の肝臓外科医

を目指されました。次に、エビデンスのある心肺蘇生法の普及で、救急医療がめざましく進歩し、救急医療に

勤務医人生の大半を捧げられました。最近、研修医時代から仲間たちと取り組んでいた栄養管理がNSTという

形となり、エビデンスに裏付けされた栄養管理とリハビリについて職域の枠を超えて多職種と取り組まれて

います。現在は訪問診療医という道に進まれ、日々安心して口からたべられる栄養管理を実践されています。



### 洪 英在先生 医療法人康誠会東員病院・認知症疾患医療センター総合診療科

専門；在宅医療、老年医学、総合診療

佐久総合病院総合診療科で在宅医療に従事。高齢者医療、認知症診療の重要性を感じられ、

国立長寿医療研究センター高齢者総合診療科で勤務。研鑽を積み、その後三重県立一志病院家庭医療科勤務。

2021年10月より東員病院・認知症疾患医療センター総合診療科にて勤務。

なぜか食べられなくなる、認知症の方々とたくさん出会われ、食べられるようになる方、食べられない

まま経過する方。もう駄目だ、と思ったら食べ始める方も多くいました。多職種の方と一生懸命やる中で、

「食」を通してその方の人生を振り返ることも意識されているとのこと。

